

## 福祉プロジェクト ～世羅町の高齢者を元気にしよう～

学年・教科	第1学年・総合的な学習の時間
単元名	共に生きる
学習テーマ	世羅町をもっと元気にするためには？
関連SDGs	3 すべての人に健康と福祉を

### 単元情報

#### (1) 単元計画の概要

本校では学校教育目標を「他者や郷土を大切にし、自ら進んで学び、何事にも一生懸命に取り組む生徒の育成」とし様々な教育活動に取り組んでいる。

そこで、第1学年では「世羅町をもっと元気にしよう！」を大きなテーマとし、福祉について単元開発を行った。福祉をテーマとし、グループで探究活動を行い、自分たちの考えたことが世羅町を元気にすることにつながっているか、また、実行可能なものかということを取組を通して考えさせ、探究する力を身に付けさせる。

#### (2) 育成したい21世紀型スキル（資質・能力）

##### 【自発性】

- 基本的な知識・スキルの習得やカリキュラムの修了で満足することなく、より専門的な知識、スキルの獲得のために、自ら学びの可能性を広げる。
- 直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行う。

##### 【コミュニケーション能力】

- 他者と協働的に活動する中で、独創性と創作力を発揮する。
- 新しいアイデアを出し合い、実践し、仲間と共有する。

#### (3) 単元の目標

自分の住んでいる世羅町に目を向けさせ、「世羅町を元気にする」ための取組を通して、地域貢献の考え方を身に付けさせる。また、福祉について探究テーマを決定し、自らが設定した問いを解決すべく、情報収集、整理分析、まとめ・表現等の探究的な学習過程を通して本校が育成を目指す資質・能力である「自発性」と「コミュニケーション能力」を向上させる。

#### (4) 他の単元との関連

- 学校行事「文化発表会」（11月）
- 国語科 「調べて分かったことを伝えよう」（7月）
- 社会科 「身近な地域の歴史」（12月）

## 生徒の実態

### (1) 学級（学年）の雰囲気

本学級において12月に行った「学習・生活アンケート」で、「総合的な学習の時間の学びは充実している」という項目に肯定的評価をしている生徒は94.6%であった。これまで地域福祉について、生徒たちが主体的に学び、文化発表会で発表したことが一定の達成感につながっていることが読み取れる。

しかし、「地域行事・ボランティア活動への参加、世羅町主催事業への作品応募をした」という項目に肯定的評価をしている生徒は67.6%である。2、3年生の同調査の肯定的評価は88%であり、コロナ禍で地域の方々との交流が減ってしまっており、特に1年生は、これまでの総合的な学習の時間の中でも、地域社会との関わりが少ないことが影響していると考えられる。

### (2) 資質・能力に係る状況

9月以降のルーブリック評価（各自毎時間実施）で、「自発性」の項目の肯定的評価の割合は、9月第2週では「自発性」が59%、「コミュニケーション能力」の「伝える力」が38%、「受け取る力」が35%であった。それに対して、文化発表会後（11月第1週）では「自発性」は82%、「伝える力」67%、「受け取る力」は72%であった。文化発表会では、発表内容から表現技法まで、生徒が自分たちで考え、見ている人に伝わるように大きな声ではっきり伝えることにこだわって取り組んできたことが数値の向上につながっていると考えられる。実際に、生徒たちが、一回目のサロン訪問の企画を考える際、何が目的に沿うものかを自分たちで考え、自発的に計画案を作成する姿が見られた。一方、「コミュニケーション能力」には課題があると考えられる。学校行事等で計画的に練習等を行ってきた取組に関しては、相手意識をもって発表等をする姿が見られるが、授業中に行うグループ活動やペア活動では意見を伝える際に、消極的になる傾向が見られる。以上のことからコミュニケーション能力、特に、「伝える力」には課題があると考えられる。

## 単元指針

### (1) プロジェクト型アプローチの視点（①答えのない問い，社会へ還元する ②探究的な考え方を身に付ける）

- ① 「世羅町をもっと元気にしよう!」という問いに、様々な視点から向き合っていく。
- ② 地域を知り、地域とともに生きていくために必要なことに気づき、今、自分たちができることを考えていく。

### (2) 評価規準

【知識・技能】	【思考・表現・判断】	【主体的に学習に取り組む態度】
①地域の福祉の現状について専門的に理解している。 ②ICT機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。 ③福祉について探究してきたことにより、自分たちの行動が地域の発展に大きく関わっていくことを理解している。	①ブレインストーミングやKJ法等を用いた交流を通して、自発的に課題を設定している。 ②必要な情報を幅広く効率的に収集している。 ③ブレインストーミング等を効果的に活用し、収集した情報をもとに革新的なアイデアを生み出している。 ④相手や目的に応じて効果的な表現をしている。（コミュニケーション能力）	①直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行おうとしている。（自発性） ②自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。（コミュニケーション能力） ③自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。（自発性）

(3) 質問	
本質的な問い	世羅町をもっと元気にするために自分たちにできることは何だろう。
単元を貫く問い	地域の人々のために福祉の視点から自分たちができる行動は何だろう。

## 学習活動の構想

【第1期 プロジェクトの立ち上げ】5月～7月中旬（17時間）

学習段階	学習活動 (Q 内容質問 ・ 生徒の活動)	評価		教材及び ICT 活用
		評価規準	評価方法	
課題設定 (3時間)	<b>Q みんなが考える世羅町の魅力と、改善したいところは何だろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが考える「地元“世羅町”」の魅力と改善点を整理する。</li> <li>整理したものを発表する。</li> </ul>	<b>【思①】</b> プレインストーミングやKJ法等を用いた交流を通して、自発的に課題を設定している。	Jamboard	Jamboard
課題設定 (1.5時間)	<b>Q どんなプロジェクトにしたら世羅町がより元気になるだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトテーマに係る最終目標を学級で話し合い、共有する。</li> </ul>	<b>【思①】</b> プレインストーミングやKJ法等を用いた交流を通して、自発的に課題を設定している。	スライド  自己評価シート	Jamboard
課題設定 (1.5時間)	<b>Q 世羅町の課題は何だろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世羅町が抱える問題を人口増減グラフから考える。</li> <li>高齢者にとって住みやすい町について考える。</li> </ul>	<b>【主①】</b> 直接的な指導がなくても、課題設定、優先順位の設定、課題解決を行おうとしている。(自発性)	自己評価シート	
課題設定 (10時間)	<b>Q 世羅町の地域福祉の現状はどのようなものだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて希望調査を行い、プロジェクト班にわかる。</li> <li>グループごとに活動計画書を作成する。</li> <li>中間発表を行い、活動計画書を再構築する。</li> </ul>	<b>【知①】</b> 地域の福祉の現状について専門的に理解している。	自己評価シート	
情報収集 (1時間)	<b>Q いまの計画書をよりよいものにするにはどのようなことが必要だろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>次の時間に行う外部連携のために、原稿を作成する。</li> </ul>	<b>【知②】</b> ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。	行動観察	Google ドキュメント

【第2期 これまでの学習の発表】9月～文化発表会（14時間）

学習段階	学習活動 (Q 内容質問 ・生徒の活動)	評価		教材及び ICT 活用
		評価規準	評価方法	
課題設定 (2時間)	<p><b>Q 活動の内容をグループ内で共有するにはどのようにすればよいだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉について、各グループで何について調べるのかについて話し合う。</li> </ul>	<p>【知②】 ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。</p> <p>【思④】 相手や目的に応じて効果的な表現をしている。(コミュニケーション能力)</p>	Jamboard スライド	Jamboard
情報収集 (2時間)	<p><b>Q グループの調べ学習をどのように進めていけばいいだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に伝わりやすい構成とはどのようなものか、考える。</li> <li>構成例に従って自身の探究をまとめていく。</li> <li>レポート作成とスライド作成を同時に進めていく。</li> </ul>	<p>【知②】 ICT 機器を活用して、情報機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。</p> <p>【思②】 必要な情報を幅広く効率的に収集している</p>	自己評価シート スライド	ドキュメント スライド
整理・分析 (1時間)	<p><b>Q これまでに集めた情報は自分のグループの探究テーマを探っていくために十分だろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに発表内容や構成を考えていく。</li> </ul>	<p>【思②】 必要な情報を幅広く効率的に収集している。</p>	自己評価シート	スライド
情報収集 (1時間)	<p><b>Q 自分たちの発表内容はどのように変化させられるだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表のスキルを上げるために、動画を見て自分たちとの違いを見つける。</li> </ul>	<p>【思④】 相手や目的に応じて効果的な表現をしている。(コミュニケーション能力)</p>	自己評価シート	動画
整理・分析 (4時間)	<p><b>Q 文化発表会に向けて各グループでスライド作り等を進めていくにはどのようにしていけばよいだろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化発表会に向けて、スライド作りと発表練習をする。</li> </ul>	<p>【知②】 ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。</p>	行動観察 自己評価シート	クロムブック

まとめ・表現 (4時間)	<b>Q 文化発表会のステージを全員でやりきるためにどのようにしていけばよいだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化発表会で福祉について発表する。</li> <li>文化発表会を通して、感じたことや福祉について学んだことを振り返る。</li> </ul>	<b>【知③】</b> 福祉について探究してきたことにより、自分たちの行動が地域の発展に大きく関わっていくことを理解している。	自己評価シート 行動観察 振り返りシート	クロムブック
-----------------	--	--	----------------------------	--------

【第3期 プロジェクトの実施】11月中旬～1月（19時間）

学習段階	学習活動 (Q 内容質問 ・ 生徒の活動)	評価		教材及び ICT 活用
		評価規準	評価方法	
課題設定 (1時間)	<b>Q 「久保さんの想い」はどのようなものだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>世羅町をより元気にするために自分たちにできることは何かを考える。</li> </ul>	<b>【主③】</b> 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。(自発性)	行動観察 自己評価シート	Google ドキュメント Jamboard
情報収集 (2時間)	<b>Q 久保さんの想いを汲んだ企画にするには何をどのようにしたらよいだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオからメッセージを汲み取り、世羅町を元気にするための方法を考える。</li> <li>具体的な活動計画の作成や役割分担を行い、グループでの取組を考える。</li> <li>ゴールを明確にする。</li> </ul>	<b>【主②】</b> 自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。(コミュニケーション能力)	行動観察 自己評価シート	Google ドキュメント Jamboard
整理・分析 (2時間)	<b>Q 自分たちの企画書を説明し、改善点を見つけ合い新たな企画書につなげていくにはどのようにしたらよいだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループの取組を他者に伝わるように工夫して発表する。</li> <li>ほかのグループから聞いた意見をもとに改善案をつくる。</li> </ul>	<b>【知②】</b> ICT 機器を活用して、情報の収集、文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。 <b>【主②】</b> 自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。(コミュニケーション能力)	行動観察 自己評価シート	Google ドキュメント Jamboard
情報収集 (2時間)	<b>Q 久保さん方から意見をもらい、計画書をより良いものにしていくにはどのようにしたらよいだろうか。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>久保さん方に各グループで考えた計画書を発表して、フィードバックをもらって、計画書を改善する。</li> </ul>	<b>【主②】</b> 自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。(コミュニケーション能力)	行動観察 自己評価シート	

整理・分析 (2時間) (本時2/2)	<p><b>Q 学習したことを踏まえて、世羅町の高齢者を元気にするために私たちの企画にはどのような工夫が必要だろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画した内容の模擬活動（デモンストレーション）を実施する。</li> <li>計画していることが高齢者の方の立場に立った時に適切なかどうかをお互いに意見し合う。</li> </ul>	<p>【主②】 自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。(コミュニケーション能力)</p> <p>【主③】 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。(自発性)</p>	行動観察 Jamboard 自己評価シート	Jamboard スプレッドシート
まとめ・表現 (2時間)	<p><b>体験活動の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サロン訪問を実施する。</li> </ul>	<p>【主③】 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。(自発性)</p>	行動観察 自己評価シート	
振り返り (1時間)	<p><b>Q 1回目のサロン訪問を通して、わかったことや学んだことは何だろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目のサロン訪問を通して、わかったことや学んだことをまとめる。</li> </ul>	<p>【思③】 ブレインストーミング等を効果的に活用し、収集した情報をもとに革新的なアイデアを生み出している。</p>	作成した成果物 自己評価シート	Google workspace 各機能  カメラ機能
課題設定 (3時間)	<p><b>Q サロン訪問で学んだことを使って、どのように企画書を改善していけばよいか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目のサロン訪問を通して、わかったことや学んだことから企画書の改善をする。</li> </ul>	<p>【主②】 自らの意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。 (コミュニケーション能力)</p>	作成した成果物 自己評価シート	Google workspace 各機能
まとめ・表現 (3時間)	<p><b>Q 1回目のサロン訪問の反省を活かして、2回目のサロン訪問を成功させるにはどのようにしたらよいか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まとめた内容や改善した内容を2回目のサロン訪問で発表する。</li> </ul>	<p>【主③】 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。(自発性)</p>	行動観察 自己評価シート	
振り返り (1時間)	<p><b>Q 自分たちはこの1年間で世羅町を元気にすることができただろうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の総合的な学習の時間の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>【主③】 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。(自発性)</p>	行動観察 自己評価シート	

## 本時の学習内容

学習段階	学習活動 (Q 主な発問 ・ 生徒の活動)	教師の動き (指導上の留意点)	評価規準 (評価方法)
導入 (6分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>これまでの復習 (5分)</b></li> <li>● 本質的な問いとそれに対してこれまでどう歩んできたかを確認する。</li>   <li>● 福祉体験学習や文化発表会等、これまでの総合的な学習の時間の授業で学習し、気付いたことを想起させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の体の不自由さ</li> <li>● 心のバリアフリー</li> <li>● はっきり大きな声でしゃべる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>めあての確認 (1分)</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループに分かれた席配置で授業を始める。</li> <li>● 本プロジェクトの歩みを、パワーポイントで写真を見ながら振り返り、本時までの過程を復習する。</li>   <li>● 各学習での気づきを発表させる。</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> 学習したことを踏まえて、世羅町の高齢者を元気にするために、私たちの企画にはどのような工夫が必要だろう。			
展開 (34分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本時の活動を説明する。(1分)</b></li> <li>● <b>模擬活動 (15分)</b> 各グループがサロン訪問とする予定の活動を生徒同士で実施する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>交流会 G かるた 福祉 G 折り紙 食べ物 G 郷土料理に関する発表</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>集団思考① (8分)</b> 模擬活動を通して、感じたことを、実施する立場・高齢者の立場等それぞれの立場で○・△・×で意見交換することで他者評価を得る。(情報収集)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各グループ1名、高齢者疑似体験セットを装着させ、高齢者の視点をもった上で体験できるように適宜指導する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ペアグループ 交流会 G・移住 G (多目的) 福祉 G・自然 G (図書室) 食べ物 G・歴史 G (多目的)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動が時間内に終わるよう、必要に応じてタイムキーパーをする。</li> <li>● ○・△・×で意見交換をさせる。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>【主②】</b></p> 自らの意見や考えをもち、他者の意見も

	<p>予想される生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大きな文字で見やすく工夫されている。</li> <li>△ 活動としては面白いが、高齢者の体の不自由さを考慮する必要がある。</li> <li>× 声が小さく聞き取りにくかった。</li> </ul> <p>● <b>集団思考②（10分）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに良かった点・悪かった点・他のグループから学んだ点を整理し（整理・分析）、改善点を考える（まとめ・表現）。</li> </ul> <p>予想される生徒の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとゆっくりはっきりインタビューをする。目を見て話す。</li> <li>・高齢者との体力差を埋めるために、かるたの配置を工夫する。</li> <li>・予定していた折り紙の折り方では、高齢者には難しすぎるため、もう少し簡単な折り紙に変更する。</li> </ul> <p>・決まった改善策はスプレッドシートにリーダーが入力する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1A教室に戻ってくる。</li> <li>・グループ活動にファシリテーターとして参加し、必要に応じて問いかけを行う。</li> <li>・1名書記をつくり、話し合いを可視化させるためにジャムボードに記録させる。</li> <li>・ふせんには発言者の名前を入力させる。</li> </ul> <p>青 良かった点 赤 悪かった点 黄 他のグループから学んだ点 緑 改善策</p>	<p>尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。 （コミュニケーション能力） （行動観察）</p> <p>【主③】 自分たちが地域社会のためにできることを考え、具体的に行動に移そうとしている。（自発性） （行動観察）</p>
--	--	---	---



<p>まとめ・振り返り (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まとめ（6分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体でも共有したい改善策を，入力されたスプレッドシートをもとに意図的指名をし，発表させる。</li> </ul> </li> </ul> <div data-bbox="284 302 790 593" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ピックアップしたいまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想以上に声が聞き取りにくかったので，もっとゆっくりはっきりインタビューをする。</li> <li>・高齢者と一緒に楽しむことができるような内容にする。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 振り返り（4分）</li> </ul> <p>振り返りシートに振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机を前に向けさせる。</li> <li>・まとめをしながら，全グループに意識させたい点をファシリテートしていく。</li> </ul>	
<p>振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の模擬活動で，自分では，大きな声で話しているつもりであったが，まだまだ足りていないということが分かりました。また，相手の言葉を引き出すために，目を見て，うなずきながら，インタビューをしていきたいです。</li> <li>・自分たちの感覚で，問題ないだろうと思っていたことが，実際に高齢者疑似体験セットをつけた友人の動きを見ていて，かなり難しいことが分かりました。自分たちと高齢者が一緒に楽しめるような活動やルールを次の時間では考えたいです。</li> </ul>			

## 板書計画

本質的な問い：世羅町をもっと元気にするために自分たちにできることは何だろう。  
めあて 学習したことを踏まえて、世羅町の高齢者を元気にするために、私たちの企画にはどのような工夫が必要だろう。

本時の流れ

1. これまでの復習
  2. めあての確認
  3. 模擬活動
  4. 集団思考①
  5. 集団思考②
  6. まとめ
  7. 振り返り
- これまで学んだこと・・・
- ・高齢者の体の不自由さ
  - ・心のバリアフリー
  - ・はっきり大きな声でしゃべる

### 集団思考①

模擬活動を通して、感じたことを、実施する立場・高齢者の立場等それぞれの立場で○・△・×で意見交換しよう！

ホワイトボード①

### 集団思考②

グループごとに良かった点・悪かった点をまとめ、改善策を考えよう！

青 良かった点  
赤 悪かった点  
黄 他のグループから学んだ点  
緑 改善策

まとめ

- ・高齢者と一緒に楽しむことができる企画にする
- ・もっと大きな声ではっきりゆっくり
- ・笑顔で

ループリック

ホワイトボード②

## 評価ツール

### 【資質・能力の自己評価用ルーブリック】

#### ①自発性

S	A	B	C
これまでの経験を踏まえて、自らやりたいと感じたことについて、計画を立て、行動に移すことができる。	自分が知りたい、やってみたいという課題を設定し、それを解決するための順序や道筋を立てることができる。	自分の考えをはっきりともし行動に移すことができる。	自ら考えて行動しようとしている。

#### ②コミュニケーション能力（伝える力）

S	A	B	C
全体を見て、必要だと感じる意見や内容を相手の反応も確認しながら分かりやすく伝えることができる。	相手のことを意識して伝えることができる。	自分の考えや意見を相手が理解できるように表現することができる。	自分の考えや意見を伝えようとしている。

#### ③コミュニケーション能力（受け取る力）

S	A	B	C
相手が発信している内容を理解し、質問したり自分なりの考えを交流したりすることができる。	相手が発信している情報の中から必要な情報を見つけ出し、自分の考えをもつことができる。	相手の伝えていることを理解することができる。	相手の伝えていることを理解しようとしている。